

推理小説の奥深い世界

あなたは推理小説を読んだことがありますか？

あまり読んだことがない人だと、推理小説といえば、殺人事件が起きて探偵が出てきて解決する話でしょ、と思うかもしれません。

しかし、しかし。

推理小説の世界は今や、驚くほどカラフルです。探偵が向き合う謎は、刑事犯罪にとどまらず、日常のちょっとした違和感だったり、場合によってはお化けだったり。

そもそも、作家が生み出してきた探偵たちは実に多種多様！

是非、あなたのお気に入りの探偵を、探し出してみてください。

多摩市立図書館は
電子図書も貸し出し
しています！



多摩市に在住・在学・在勤の方は、電子図書も借りることが出来ます。電子雑誌が読めるコンテンツや、クラシック中心に音楽を聴けるコンテンツもあるので、多摩市立図書館HPの電子図書館を、ぜひ、一度、見てみてくださいね。



『僕と先輩のマジカル・ライフ』

はやみねかおる／著 KADOKAWA/角川文庫 Y F1ハヤ

幼なじみの春奈には「真面目で面白いのいない変人」と言われる井上快人。大学生になった彼は、経済的理由から選んだ家賃の安い寮で、個性的な先輩と出会い、妙な事件に巻き込まれていくことに。オカルトなのか、ミステリーなのか。波乱万丈な快人のキャンパスライフ！



『博物館の少女 怪異研究事始め』

富安陽子／著 偕成社 Y91トミ

時は明治時代。大阪の古物商の家に生まれたイカルは13歳で両親を亡くし、東京の遠縁の家へ引き取られる。少々息苦しい生活を送っていたイカルは、ひょんなことから現在の東京国立博物館の手伝いをするようになるのだが、ある日、収蔵品の1つが盗まれる事件が起こって…。不思議な謎の物語。

『少年少女のためのミステリー超入門』

芦辺拓／著 岩崎書店 Y90



ここまでいくつかミステリーを紹介しましたが、まだまだたくさんの魅力的なミステリーがあります。この本では、自身もミステリーの名手である芦辺拓が古今東西からこれぞというミステリーを紹介しています。解説はついていますがネタバレはなし！ぜひ、さらなるミステリーの世界へ。

TEENS BOOK LIST



MYSTERY



多摩市立東寺方図書館
2023.10.25



謎?



集英社オレンジ文庫
『下鴨アンティーク 1～8』
白川紺子／著 集英社 F1シラ

京都は下鴨の古びた洋館に、兄と兄の友人とともに暮らす鹿乃は、休日には着物を着て過ごす着物が大好きな女子高生。ある日、亡くなった旧華族の祖母から、開けてはいけないと言われていた蔵の中の着物を虫干ししてしまう。すると、その着物に不思議な変化が起きて…。
着物が招く不思議なミステリー。

『杉の柩』
アガサ・クリスティー／著 早川書房 F2クリ

婚約者を、突然現れた女性メアライに奪われてしまったエリノア。婚約も解消されてしまい、嫉妬と憎悪に駆られていた矢先、メアライが毒殺されてしまう。第一容疑者となったエリノアは本当に殺人を犯していないのか。ポアロの灰色の脳細胞が動き出す。

『推理教室Q ナゾキ中学受験の秘密』
岬かつみ／著 KADOKAWA Y91ミサ

名探偵の叔父に憧れる小学6年生のレン。叔父さんの出身中学校を受験することを決めるが、その入学試験は難解な推理ゲームだった！
成り行きで出会った頼りない先輩をパートナーに、レンは試験に合格できるのか。
暗号、水平思考、人間観察…謎たっぷりの入学試験が始まる。



『穴 (アナ)』
ルイス・サッカー／著 講談社 Y92 サツ

とにかく間の悪い一族イェルナッツ家のスタンリーは、ある時、その間の悪さから無実の罪で少年院に入れられてしまう。毎日穴を掘る刑を受けることになったスタンリーだが、その穴掘りの刑には、とんでもない意味が隠されていた！



『十角館の殺人』
綾辻行人／著 講談社 F1アヤ

彼が設計した家では何かが起こると言われている建築家 中村青司。その建築家が設計し、奇妙な経緯で死んだ断崖の孤島に建つ十角形の屋敷、十角館にやってきた推理小説研究サークルの大学生たちを、連続殺人事件が襲う。最後にアツと驚くような展開が待ち受ける、人気ミステリー作家のデビュー作。

『七回死んだ男』
西澤保彦／著 講談社 F1ニシ

何度も同じ殺人が起きる時間のループにはまってしまった久太郎。毎回殺される祖父を助けようと事件解決に挑むが…。
ミステリーでは禁じ手と思われるようなSF要素を巧妙に取り入れる西澤保彦ワールドが存分に堪能できる1冊。

『女学生探偵と偏屈作家
古書屋敷殺人事件前夜』
てにをは／著 KADOKAWA Y F1テニ

時は昭和中期。
推理小説をこよなく愛する女学生ひばりが、変わり者の推理小説作家の久遠蓮真と軽妙なやりとりを繰り広げながら、事件に巻き込まれていくストーリー。
ポーカロイドの曲として人気を博した『古書屋敷殺人事件』の前日譚です。
ひばりの元気の良さと、蓮真の巧妙さが絡まる独特の雰囲気魅力的です。



『怪しい店』
有栖川有栖／著 KADOKAWA F1アリ

犯罪学者 火村英夫と、推理小説作家 有栖川有栖が警察に協力し謎を解く、新本格ミステリーの人気シリーズの短編集。
店にまつわる5つの話で、新本格ミステリの世界を存分に味わわせてくれます。
気に入ったら、ぜひ、他のシリーズの作品も手に取ってください。